

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	1	事業名	教育委員会広聴事業費【知事指定事業】
------	---	-----	--------------------

1 基本情報

実施日／班名	10月15日 第1班	時間	10:28～11:33
担当課名	教育委員会 教育政策課	事業費	1,392千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)			
県実施 (一部見直し)	判定区分別	行政関与不要	1		
		行政関与必要	⑰	国・市町実施	1
				県実施	⑱
	一部見直し	⑥			
	現行・拡充	5			
判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)				
	・事業効果の把握・検証方法や目標の設定方法を見直すべき				5
	・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき				5
	・他の事業との関係を整理すべき				2

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<行政関与不要>

- ・ 教育委員の報酬の件で月額制から日額制に改定の理由？
- ・ 報酬金額が適切であるのか？必要性？給料とは別なのか？

<国・市町実施>

- ・ 教育関係者でなくてもわかりやすいような形に少しずつもって行ってほしい。
- ・ 一般の方も意見が言えるような場も作ったらどうか。
- ・ 教育委員会自体が分かりにくい。

<県実施(抜本見直し)>

- ・ 法律よりも何が大事か考えるべき、子供さんの教育のため、教育をするための子供にとってよい環境を作るためにこの団体があると思う。いろいろな法律・団体・思想など運営していく上で大変と思うが、基本は「子供の教育のため」に尽きると思う。
- ・ 懇談会はしなくて自費で！
- ・ 法律の改正が必要と思う。もっともっと最新の教育モデルを提案するぐらいの団体になってほしい。(例えばイジメをなくすための壁のない教室モデルの提案とか実験など)
- ・ 定期的な活動に成果が見られない。定期的に行っていることは評価できるが中身がないのでは？定期的な活動に時間を要するのは無駄。訪問される学校も準備とかで大変と思う。現場の先生方はいい迷惑と思う。現場の先生は忙しく、それどころではないと思う。本当の問題を探すべきではないか。
- ・ 本当に子供の教育のために、子供さん、親、何よりそれに携わる先生方との連携が薄いのではないか？

先生方の悩み、子供さんたちの悩みが解決されていないです。

- ・ 民間海外の最新教育システムや指導をあおぐべき。
- ・ 教育委員会の委員構成から見ると、委員の意見を聞くことで用が満たされているのではないか。テーマを決めて実施すべきと思う。(具体的成果を得て具体的施策に反映させる。)
- ・ 委員会はなくすことを検討してもよいのではないか。
- ・ 委員会に予算・権限を付与すること。法的に無理であれば国レベルまで持ち込んで議論、実行するべきだと思う。
- ・ 具体的な施策を委員会が行えないのであれば、現場と知事との「つなぎ」でしかないため、存在する必要性がないのではないか？行わないまでも実行される施策に対して強い影響力を持てることが可能であれば十分に存在意義があるはず。
- ・ 権限の強化をはかるべき。
- ・ 抜本見直し、市町村との関係をもっと深く掘り下げ、よい学校づくりに！特に良い先生をつくりたい。
- ・ 「現場を知る」ことは大事かと思いますが、方法を間違えると先生をキズつけるだけ。取扱いに注意が必要。
- ・ 市町村との関係を深く掘り下げる。

<県実施(一部見直し)>

- ・ 情報収集するには訪問回数を増やしたほうがよいのではないか。県と市町村の役割(連携を密接にする)を見直すことが必要では？
- ・ 話題になったから視察するのか。現状を知るために視察するのか。テーマをもってやっているのかがよく見えてこない。問題を解決する為にやってほしい。
その上で視察回数(場合によっては同じ現場に何度も足を運ぶ必要があるのでは)視察校を決めて(形式的に事業だからと考えてやらないで)行ってほしい。
必要な事業ではあると思う。やり方、考え方、費用のかけ方の問題。
- ・ 教育の問題は地域や組織によって様々であると思われませんが、年に5ヶ所しか視察しないで(1ヶ所の問題なのか全体的な問題なのか)判断できるのか？解決までのスピード感や充足感は得られているのか。→教育について考える団体が多く存在するのは県民に県(市)に任せておけないと考える人が多いからでは？
- ・ 提案書や申入れ書があがった場合、よくも悪くてもきちんとした回答に到っているのか→1, 2年先では現状が変化してそぐわなくなってしまう。
- ・ 教育委員会(県)が事業計画等を決定するのではなく、市町の意見も取り入れて計画、候補決定をしたほうがよい。
- ・ 事業シートの議論に入る前の、教育委員会とは何ぞやの議論が長かったように思う。
- ・ 県が動くより市町が動く方がその地域の事を理解していて効果が大きいのでは？

<県実施(現行・拡充)>

- ・ このような事業はどこかでやらなければならないと考えます。また、地域による温度差は少なくなければならぬので、多少の不合理があっても県の事業として行うのは仕方がないと考えます。
- ・ 学校の代表、保護者の代表からの情報では、コントロールされたものになりやすいので、ネット等で広く、本当の情報も収集して検討すべきと思います。
- ・ 学校以外の教育活動現場の実態・要望・県民の意向等を把握したほうがよいのでは。
- ・ 活動の視察のやり方など、改善すべきところもあると思いますが、その度考えながらの改善でいいと思います。(市町村との意見交換しながら)

- ・ 現状把握をするため、移動教育委員会の開催回数を増やすようにし、県全体のレベルを上げる。
- ・ 教員による犯罪の厳罰化を要望します。
- ・ 教育委員の権限を拡大してもよいのでは。